

高槻市、堺市におけるプロジェクションマッピング



高槻市上宮天満宮 七夕祭り

活動の目的

- 1 | 高槻市、堺市といった大学キャンパスのある地域自治体への社会貢献
- 2 | 映像・音楽制作やプロジェクションの技術を学ぶゼミ教育

連携にいたる経緯

高槻市の場合はイベントを主催する高槻市青年会議所、高槻アート博覧会実行委員会から直接依頼を受けた。堺市からは前年度の地域連携に引き続いて依頼を受けた。

活動内容

高槻市上宮天満宮において2017年7月7日に開催された七夕祭りで、主催者の高槻市青年会議所の依頼を受けて神社境内建築に幅約12mのプロジェクションマッピングを実施した。映像、音楽制作はすべてゼミ生が行い、設営作業は委託業者がサポートした。高槻アート博覧会では11月18日にミュージックキャンパス壁面、幅約24mにプロジェクションマッピングを行った。堺市では「堺桜彩イルミネーション2017」コラボレーション企画として、『桜のアートプロジェクション』を制作。上下に張り巡らされた無数の糸の空間に映像投影する作品を12月19～26日に展示した。

DATA

● 主な連携先・メンバー

高槻市青年会議所／高槻アート博覧会実行委員会／堺市

● 活動地域

高槻市／堺市

● 活動資金

設営に関わる実費は主催者が負担



高槻アート博覧会



桜のアートプロジェクション

活動の成果

- 1 | 社会への作品発表の機会を持つことで、ゼミ生の学習、研究意欲が向上した
- 2 | 総合情報学部生の制作活動の認知を高め、地域との接点を生んだ

今後の課題・目標

- 1 | ゼミ生による多様なパブリックアートへの挑戦
- 2 | より高度な展示のための活動資金の調達

● 教員紹介



総合情報学部 准教授 井浦 崇 (いうら たかし)

専門はメディア・アート。デジタルメディアにおける映像と音楽の新しい創造性をテーマに、視覚と聴覚の相互作用による表現効果を研究。美術家、音楽家として作品制作も行っている。